

科目名	現代社会		英文表記	today`s society		2017/3/21	
科目コード	2026						
教員名: 島袋 政和 技術職員名:						作成	
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科	2年	必	履修	1単位	講義	後期	
科目目標 【MCC目標】	日本の政治、経済、文化、選挙等を学び、日本や世界の実状に理解を深めることにより、自己を磨きよき社会人としての素養を身につけるよう心がける。また、16年に公職選挙法が改正され18歳に選挙権引き下げられた。このため、社会人としての自覚をしっかりと持つ必要もあるので、正しい選挙権を行使できるよう心がけさせたい。						
総合評価	前期2回、レポートは4回および定期テストの成績によって評価。						
科目達成度目標	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック
	80%	① 授業内容は政治(特に憲法)・経済・文化・選挙等で、社会の動向に関心を払うよう努める。	定期テスト・ディスカッション・レポートや授業態度等も含めて評価する。	90%。講義の各分野を極めてよく理解し、的確に意見を発表している。	75%。講義の各分野をよく理解し、よく意見を発表できる。	60%。講義の各分野を理解しある程度の意見を発表できる。	
	20%	② 講義中の態度や意見の発表を重視する。	ディスカッション等を通し努めて設問するようにする。	各分野の重要な課題を見いだし、その解決に必要な意見を発表することができること。	各分野の基本的な知識を深めていて、ディスカッションも「意欲的に発表する。	基本的な漢字や用語を理解でき、意欲的な学習意欲が見られる。	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
<b>評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合</b>							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・実習・実技・成果物)	総合評価	セルフチェック
評価項目		50	20	20	10	100	
基礎的理解		20	10	10		40	
応用力(実践・専門・融合)		10	5	5		20	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)					10	10	
主体的・継続的学修意欲		20	5	5		30	
授業概要、方針、履修上の注意	授業概要・・・憲法、経済、文化、選挙制度。方針・・・特に、公職選挙法の改正による選挙権の引き下げによる社会人としての自覚を持って貰うよう心がけたい。。このため、授業を通して憲法や経済などに日頃から関心を持つよう努めたい。履修上の注意・・・ディスカッションや発表の機会をつくり、母国の諸制度を振り返るよう促したい。						
教科書・教材	毎時間、作成したプリントによって講義を進めていきたい。						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8	前期中間試験(行事予定で週変更可)				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末	期末試験	[2]			
16	コース・インフォメーション	2	内容・レポート発表等	プリント復習	
17	日本国憲法①	2	自由権・社会権・公共の福祉	プリント復習	
18	日本国憲法②	2	国民主権・平和主義	プリント復習	
19	日本国憲法③	2	基本的人権	プリント復習	
20	政治制度	2	三権分立・地方自治	プリント復習	
21	選挙制度①	2	公職選挙法	プリント復習	
22	選挙制度②	2	公職選挙法	レポート	
23	日本の産業①	2	戦後日本経済の推移	プリント復習	
24	日本の産業②	2	日本経済の構造	プリント復習	
25	日本の産業③	2	日本経済の課題	レポート	
26	日本の産業④	2	日本の農業	レポート	
27	人口	2	少子化・高齢化	プリント復習	
28	社会保障	2	社会保障の仕組み	プリント復習	
29	日本の文化	2	日本文化の特徴	実習・レポート	
30	総まとめ	2	発表	レポート	
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①					
②					
③					
備考欄					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)